三河新報
発行所 三河新報社
西尾市花ノ木町2-15
TEL（56）3036
FAX（57）0003
〒445-0852
Eメール:shinpo@katch.ne.jp
日刊（月・第3日曜・祝翌日付は除く）

経営統合で2院維持を

西尾市が方針を決定

市民病院統合協議 15日に碧南へ回答

西尾市民病院と碧南市民病院との経営統合を含めた協議を進めてきた西尾市は七日、碧南市内での病院建設を前提とする協議の同意は難しいと判断したとして、「両病院を経営統合し、両市で二病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続することを提案する」とした回答をまとめた。この日開かれた西尾市議会厚生部会（松崎隆治部会長）で市側が報告した。回答は、十五日に長島幹城副市長が碧南市へ持参する。

今回、市がまとめた碧南市への回答では「両市民病院の経営統合案について」として、碧南市内での新病院建設を前提とするなら経営統合に関する協議・検討を行うとする碧南市からの回答については、市民や関係団体の意向を尊重し、同意は難しいと判断。ただ、両市民病院は今後も厳しい経営状況が続くものとした上で、「新たに両市民病院を経営統合し、両市で二病院体制を維持しつつ、両病院で急性期医療を継続することを提案する」と回答を決定した。

ただ「両市民病院の今後の医療連携」で、引き続き協議・検討を進めたいとする碧南市の回答については同意すると回答を示す。

西尾市民病院と碧南市民病院を経営統合し、両市の一部事務組合による新病院整備に向けた協議は、昨年一月に西尾市から提案。昨年六月に碧南市から「新病院建設については、碧南市内での建設を前提としていただけるのであれば経営統合に関する協議・検討を行うこととしたい」「両市民病院の医療連携については、引き続き協議・検討を進めたい」とする回答文書を受領している。

その後、中村健市長が市民病院中期計画等評価委員会に対して今後のあり方について諮問し、各医師会へのアンケート調査や市政世論調査の結果などを参考にしながら、協議を進めていた。

委員会は「両市で急性期医療を継続する二病院制」を提案。「医師が不足する診療科など、どちらか一方の病院へ集約しつつ、救急医療は、両市で併存する案を押したい」と市に答申を示した。

その答申を受けた西尾市は、先月二十五日の市議会全員協議会で説明。今月四日に庁議を開催し、回答を決定した。

低所得者への軽減強化

介護保険料

介護保険料低所得者への軽減強化について説明があった。

それによると、十月の消費税10％への引き上げに合わせ、さらなる軽減強化に対応するため負担割合の変更をする。二〇一九年度は、負担軽減幅の完全実施となる二〇年度以降の軽減幅の半分に設定する。二〇年度以降の負担軽減幅は、あらためて政令改正が行われる予定。

所得段階別基準額に対する負担割合について一九年度の第一段階は「0・41」から「0・325」、第二段階は「0・325」、第三段階は「0・70」から「0・625」へそれぞれ引き下げられる。

秀麗会設立準備会に決定

特養整備事業者 22年2月開設

特別養護老人ホーム整備事業者の選定結果について、（仮称）社会福祉法人秀麗会設立準備会（設立代表者・山尾ひろみさん）＝西尾市桜木町＝に決定したと報告があった。

開設予定地は、同市徳次町明大寺地内。敷地面積は、三千八十八平方㍍で、建物は鉄筋コンクリート造四階建て。延べ床面積は四千六百四十四平方㍍で、総事業費は約十六億二千万円となっている。定員は百人規模となる。

施設としては、通所介護事業所と居宅介護支援事業所、保育所が併設される。

選定については、二月十五日に審査委員会を開催し、事業者からヒアリングを実施して決定した。

施設建設の着工時期は来年十一月、完成は二〇二一年十一月、施設開設は二二年二月の予定となっている。

4月からまちの体操教室

市内12会場で実施へ

西尾市は今年四月から、地域の公民館や寺院、事務所などを会場に、六十五歳以上の高齢者らを対象とした「まちの体操教室」を開設する。

自宅から歩いて通える場所に介護予防につながる体操教室を開設し、地域の人たちと楽しみながら体を動かすことで、高齢者の運動機能の維持を図ることを目的に実施する。

虚弱になった高齢者が一定のリハビリや機能強化を行ったあと、自立支援に取り組む受け皿としての機能も持つ教室となる。

内容は、高齢者向けのストレッチや筋力アップなどの簡単な体操として、座ったままできる体操やいすを使った体操を講師が工夫して実施する。講師は、市の介護予防サポーター養成講座の修了者か地域住民に運動を指導できる人に依頼する。

地域のボランティアが運営を担当。参加対象は、徒歩か自転車で参加できる六十五歳以上の人とその同行者で、参加費は無料。参加申し込みの手続きも不要となっている。

教室は週一回、一時間を基本におおむね月四回定期的に開催し、原則四十八回実施。会場は、地域の公民館や寺院、事務所、空き教室、JA西三河の支店、西尾信用金庫の支店などを予定しており、事業の趣旨を理解し、借用可能となる十二会場で実施する。

今後は、会場や講師の調整ができた地域から拡大していく。

対象男性に無料クーポン

風しんの予防接種事業

風しんの予防接種事業について説明があった。

昨年七月以降、関東地方を中心に風しんの患者数が増加し、患者の中心が三十代から五十代の男性だった。このうち、一九六二年四月二日から七九年四月一日までに生まれた男性は、公的な予防接種を受ける機会がなかった世代で、東京五輪も控えて発生とまん延を予防するため国が早急に対策をとることとなっている。

対象者は、同期間に生まれた男性で、西尾市では約二万二千人。実施期間は二〇一九年度から二一年度となっている。

実施内容は、対象者に風しんの抗体検査・予防接種の無料クーポン券を送付し、検査を受けた結果で予防接種を受けるか判断する。

一九年度は、一九七二年四月二日から七九年四月一日までに生まれた男性約一万人にクーポン券を送付する予定。

事業の関係経費については三月定例会の最終本会議に追加補正予算として計上する。

3月9日（土）仏滅
日の出＝6:12
日の入＝17:55
満潮＝ 7:30 19:30
干潮＝ 1:13 13:29
（名古屋港標準）

“何の日”
☆記念切手
1894（明治27）年、日本初の記念切手が発行された

ネットでつながる自分のまち
三河新報社 検索（カチッ）
shinpo.web

水のある豊かな環境づくりを提案する
給排水、空調設備の設計および施工、メンテナンス
辻村工業株式会社
本社／西尾市桜町中新田62
☎（0563）57-4124

24時間営業・年中無休
レンタルビデオ
ビデオ1（ワン）下町店
入会金無料 年会費無料
ミュージックCD＆DVD
MUSIC
営業時間
10:00～24:00
西尾市下町神明下58
TEL57-1211

湯口歯科
西尾市城崎町2丁目3番地
TEL 0563-57-8811（歯ワイイ）

税理士法人 高須会計事務所
公認会計士 髙須 光
税理士 大塚 清孝
税理士 大嶽 法央
公認会計士 判治 俊哉
西尾上町南荒子10 ☎55-0311(代)

内装リフォーム工事・カーテン装飾品
総合室内装飾
インテリア OKITA